



地域おこし協力隊通信

—第15回—

皆さん、こんにちは！ 地域おこし協力隊の野口です。能代市で過ごす二回目の春です。真っ白な雪景色から一変、色とりどりで温かみのある景色になってきました。東北地方は四季によって、全然違った風景を楽しみむことができます。これは、この地域ならではの大きな魅力です。しかし！ 能代市の春は短い！（昨年の経験談）桜が終われば、気分はもう夏。イベントやお祭りに向けてシフトチェンジ&フルスロットルです。注目はなんととっても今年1月に東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京」で一気に知名度を上げた天空の不夜城。今年は多くの市外・県外の来客が期待できます。ますます夏が忙しくなりそうですね。まずは今のうちにゆっくりと充電を…。体力をつけて全力で楽しみましょう！



今月はきみまち阪公園がオススメ！（2015年5月撮影）



立派なたんぽろ桜を見ることができます（2015年5月撮影）

能代市地域おこし協力隊フェイスブックページ
https://www.facebook.com/noshirokoryokurai

問合せ

市民活力推進課

☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.56

誘致企業編

いつも心に
キョーリンスピリットを

杏林製薬株式会社
能代工場



【工場概要】
工場長 工藤 克彦
所在地 能代市字松原 1
☎55-3456
設立 1995年10月1日
事業内容 医療用医薬品と有効成分の製造

—社員からひとこと—



製造グループ
大高基樹さん(鶴形)

高校まで能代で育ち、神奈川の大学を卒業しました。地元に戻って就職したいという思いがある中で、杏林製薬は能代に工場があり、他の地域での勤務も経験できると思い志望しました。入社して丸7年になりますが、入社5年目には東京本社へ転勤し、2年間の勤務を経て能代へ戻りました。現在は、造粒（錠剤になる前の過程）を担当しています。

工場勤務している社員の半分は他県出身なので、さまざまな経験を積んだ先輩から刺激を受けています。また、社員旅行などのレクリエーションもあり、ベテランの社員と親しくなれる機会になっています。入社1年目に披露した余興も良い思い出ですね(笑)

事業内容について教えてください。
呼吸器科領域、耳鼻科領域、泌尿器科領域を中心とした医療用医薬品と、その有効成分を製造しています。医療用医薬品というのは薬局や薬店などで買えるものと違い、医師から処方される錠剤やカ

企業理念や社員に求めることはどんなことですか。
「生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します」という企業理念の下に事業を展開しています。また、社員共通の価値観や行動様式である「キョーリンスピリット」では、誠実、信頼、情熱、責任など8つの柱と、それぞれの項目ごとに3つの心得を示しており、部署ごとに唱和することが日課です。社員には、これを日々の活動の中で実践し、明るく元気に笑顔発進でがんばってほしいと思います。

能代に工場がある利点はどんなところにありますか。
行政や地域の人たちに理解してもらおうことで効率的に運営できていると感じています。能代の地域性やまじめで正直な人間性のおかげだと思っています。